地質いしかわ

ISHIKAWA GEOLOGICAL SURVEY ASSOCIATION

No.77

2023年
2月
発行号

石川県立図書館（令和４年７月開館）

特別対談

石川県知事／馳 浩 × 石川県地質調査業協会会長／矢野 好二

県民一人ひとりが、幸福を実感できる石川県へ。

行政のささやき

都市計画道路 北国街道線の完成

主要地方道能都穴水線　鹿波（かなみ）バイパス開通

シリーズ「わがまち」

〈能美市〉 郷土の豊かな自然と悠久の歴史から、より「能き美来（よきみらい）」を育む能美市

〈川北町〉 手取川と共に発展を続ける川北町

IGS
ISHIKAWA GEOLOGICAL SURVEY ASSOCIATION

一般社団法人 石川県地質調査業協会

〒920-0059 金沢市示野町西7番地
TEL 076-267-3244　FAX 076-267-3271
E-mail info@ishikawa-geo.or.jp

石川　地質

https://www.ishikawa-geo.or.jp/

President Greetings

会長挨拶

CHISHITSU
ISHIKAWA

第77号 発刊に際して

平素は、(一社)石川県地質調査業協会ならびに会員各社に対し、格別のご理解とご指導、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

”地質いしかわ“第77号の発刊に際しましては、特別対談として、令和4年3月に就任されました、馳浩石川県知事より、大変貴重なお時間を頂きお話を伺いました。ご就任以降、石川県成長戦略にて、強い産業や個性豊かな地域づくりの他数々の総合計画を策定され、県政の発展や県民の幸福のために、全力で取り組まれている行動力と熱い想いを体感させて頂きました。また、ご多用中にも関わらず、各方面の多数の方々に、原稿執筆にご理解を賜り、寄稿頂きました。

心より感謝申し上げますとともに一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルスとの戦いは、未だ完全終息には至らず、飲食業界や観光業界をはじめ様々な分野の業種に深刻な影響を与え、建設業界もまた例外ではなく、新型コロナウイルス感染対策と経済活動の両立を、優先課題として取り組まざるを得ない状況下で3年以上が経過致しました。

ようやくコロナ禍が少しずつ収まり、感染状況も落ち着きを見せ、ウィズコロナでの社会・経済活動再開の動きが徐々に始まってきたところに、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発したエネルギー・原材料不足や価格の急騰、物流の混乱等の新たな禍事が社会情勢となっています。

また近年6月には珠洲市を震源地とする、震度6を超える大きな地震災害を体験し、未だに、能登地方全体で群発地震災害が続いています。また8月では加賀地区を中心とした豪雨災害があり、自然災害のような回避不可能なハイリスクに対するリスクマネジメントが、益々強く求められている時勢であると実感しています。

協会会員一同は、各社が、それぞれ最先端の技術力をもって、高い品質とサービスの向上に積極的に取り組むことは元より、事業の深化と課題に取り組むとともに、自分の住んでいる地域の安全安心のために、様々な災害の予知や予防、情報の発信・共有に迅速に対応し、生活の安全安心を守り地域社会に貢献できるよう、より一層の研鑽を重ねる所存です。

関係各位におかれましては、今後とも当協会ならびに会員企業に対して一層のご指導、ご鞭撻の程を重ねてお願い申し上げてご挨拶といたします。

一般社団法人
石川県地質調査業協会
会長　矢野好二（やの　こうじ）

IGS
ISHIKAWA GEOLOGICAL SURVEY ASSOCIATION

■表紙／石川県立図書館「百万石ビブリオバウム」
〈写真提供：石川県〉

CONTENTS

地質いしかわ No.77

会長挨拶

第77号 発刊に際して
(一社)石川県地質調査業協会会長　矢野 好二 …… 01

特別対談

県民一人ひとりが、
幸福を実感できる石川県へ。
石川県知事　馳 浩 …… 04
(一社)石川県地質調査業協会会長　矢野 好二

行政のささやき

都市計画道路
北国街道線の完成
石川県南加賀土木総合事務所 道路建設課長　玉田 学 …… 12

主要地方道能都穴水線
鹿波(かなみ)バイパス開通
石川県奥能登土木総合事務所 主幹兼都市施設係長　松生 智 …… 16

シリーズ「わがまち」

能美市
郷土の豊かな自然と悠久の歴史から、
より「能き美来(よみらい)」を育む能美市
能美ふるさとミュージアム 学芸員　鎌田 康平 …… 20

川北町
手取川と共に発展を続ける川北町
川北町役場 土木課係長　山村 俊行 …… 22

女性目線

私にとってのアイドル
国際地研 株式会社　松村 みなえ …… 24

地元のお店
興信工業 株式会社　澤田 有伽 …… 25

Free talk　フリートーク

猫のいる暮らし
中部地質 株式会社　佐伯 一真 …… 26

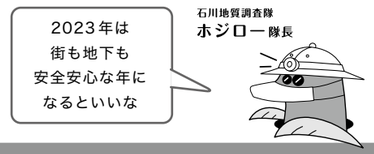
三重のおすすめグルメ
株式会社 ホクコク地水　大西 浩之 …… 27

協会ニュース

講演会 …… 28
日本ジオパーク全国大会 …… 29
担い手確保・育成推進事業
石の標本づくり in 白山手取川ジオパーク …… 30
担い手確保・育成推進事業
石川県立羽咋工業高等学校 体験学習 …… 31
労働安全衛生特別講習会 …… 32
技術講演会 …… 33
経営者研修会 …… 34

編集後記

編集後記 …… 42



特別対談 / 2022.10.04

Special Conversation

県民一人ひとりが、幸福を実感できる石川県へ。

28 年にわたり知事職を務めた谷本正憲氏の任期満了に伴い
2022 年 3 月に行われた石川県知事選。
5 人が立候補するまさに激戦となった選挙戦で当選を果たし
新たな石川県知事となった馳浩氏に、
「石川県成長戦略（仮称）」や、文部科学大臣の経験をいかして取り組む
県政への思いを、石川県地質調査業協会会長・矢野好二がお聞きしました。

（一社）石川県地質調査業協会会長
矢野 好二

石川県知事
馳 浩

（一社）石川県地質調査業協会会長
矢野 好二
YANO KOUJI

×

石川県知事
馳 浩
HASE HIROSHI

01 新時代に向けた石川県成長戦略

矢野　今日はお忙しいところお時間をいただき、ありがとうございます。

知事　地質調査業協会の皆さんには、いつもお世話になっております。今日はどうぞよろしくお願いします。

市山　早速ですけども、知事になられて六ヶ月が経ちましたが、現在策定作業を進めている「石川県成長戦略（仮称）」について、特に注力していきたいポイントなどをお聞かせください。

知事　知事選に挑戦しようと思った時に、二〇二六年に策定された石川県長期構想を全部読んだんです。策定してから六年経っていますが、まず一つ目にデジタルという観点では、デジタルトランスフォーメーション、ＩＣＴを活用したまちづくりやスーパーシティ構想など、二〇一六年とは明確に社会を取り巻く環境が変わっているんです。国では昨年九月に日本のデジタル社会を実現する司令塔となるデジタル庁が発足しましたし、県内市町においても様々な分野でデジタル化の取組が進んでいますから、どう考えてもデジタル行政の推進は成長戦略の肝の一つです。二つ目は、二年前に菅総理の時に提唱された二〇五〇年までのカーボンニュートラル。これは世界の中の日本、日本の中の石川県と考えて、環境保全、地球温暖化対策、そして温室効果ガスの排出を実質的にゼロにしていこうということです。この考えを踏まえると、石川県の果たすべき役割は策定当時の二〇一六年とは変わっていますから、石川県としても、家庭部門や運輸部門における温室効果ガス削減に向けた取組などをしっかり進めていかなけ

東海北陸自動車道

能越自動車道

のと里山海道4車線化

魅力を積極的に発信していくことが重要です。私もトップセールスで努力をいたしますが、ＳＮＳなどを通じたり、インフルエンサーにお願いして、「奥能登に行きたい、滞在したい、移住したい、ビジネスをしたい」と思ってもらえるようにしないといけない。そして、ビジネスをする上でのハードルは情報通信の基盤や流通だと思います。時間とお金がかかりますから。実は、昨日も穴水で能登ワインの工場やブナシメジの工場を視察してきましたが、能登ワインの工場は拡大する可能性を秘めてます。それから、能登カキの貝殻をブドウ栽培における土壌改良に利用したアイデアは間違いなく超一流です。

矢野　あのカキの貝殻をどう処分するか非常に迷っていたんです。

知事　この手があったかと本当にびっくりしました。こうした様々なビジネスを創出するという意味では５Ｇの情報通信の基盤整備は欠かすことはできません。そして、宿泊を考えれば温泉街に加えて、民泊、空き家対策として空き家のリノベーションなどがあります。農家民宿については「春蘭の里」が大成功していますよね。これらの基盤整備には、国や県、市町がバックアップすることが大事だと思います。私がもう一つ考えているのは、地域公共交通としてのバスです。ただ、バスの路線を守るという考えだけにこだわる必要はないと思います。主な利用目的は、買い物や通院、そして、通勤・通学です。具体的に誰がどこに住んでいて、どこに行かないといけないかデータを取って、それに合わせたオンデマンドの乗り合いバスなども有効だと思います。

矢野　珠洲市でも一部で始めています。

知事　珠洲市だけ、輪島市だけ、穴水町だけ、能登町だけでなく、奥能登一帯で協力体制を取ってもらいたい。そして、奥能登で生活していく上で困難なことはやっぱり医療、福祉サービスですよね。これらを効率的に提供できるようにするためには、県の出番だと思います。昨日は輪島市と穴水町に行ってきましたが、また間を空けずに珠洲市、能登町にも視察に行きます。

矢野　ぜひお越しください。

知事　それで、少子化や人口減少、過疎化など同じ悩みであっても、首長、議員、福祉施設職員、商工会議所・商工会では微妙に見方が違うんです。今ちょうど来年度予算の編成に入ったところなんですが、みんなの意見をバランス良く聞きながら進めていきたいと思います。ただ、財源にも限りがありますから、例えば珠洲市だけで何十億円も使えませんから、そこはご理解いただきたい。しかし、生活する上でのセーフティネットや、交流基盤の整備、生活基盤の整備、特に医療、障害者や高齢者の福祉や保育など、これらはやっぱり県のバックアップが必要だと思います。

ればなりません。さらには、ウィズコロナという視点も欠かせないと思います。新型コロナウイルス感染症は、二年以上にわたり私たちの社会経済活動に大きな影響を与えており、これからは感染防止対策と社会経済活動の両立をしっかり進めていく必要があります。そして、私自身のキャリアからもう一つ言うと教育です。石川県の産業や伝統文化を次の時代へと引き継いでいくには、教育の果たす役割は極めて重要です。初等・中等教育と、より専門性の高い高等教育、そしてリカレント教育、いわゆる学び直し、これら三つの分野でそれぞれしっかり対応しなければいけません。私自身、教育基本法の第一条、第二条で触れられている教育の理念や目標は大切にすべきだと思っています。とりわけ教育基本法第二条第五号にある「ふるさとを愛するとともに我が国を愛する心と気持ち、同時に他国を尊重する姿勢」ですね。石川県の知事になった以上は、石川県民としてのふるさと教育、人間教育、道徳教育、そして、挑戦する気持ちや、音楽、伝統文化、スポーツなどを楽しむ心、平和を願う気持ちを育んでいきたい。これは教育を通じてでしかできないですから。そもそも教育基本法第二条の五項目は、教育基本法を改正する時に私が非常にこだわったことでして、教育長、十九市町の首長や議会の皆さんとともに取り組みたいです。石川県の教育について、学力テストは日本一と言っても過言ではないでしょうが、そのことに甘んじることなく、教職員の資質向上を応援し、また過疎地域であったとしても、より高度な教育内容に触れることができ、自立して生きる力を身につけることができ、自分たちのふるさとの歴史を学べるようにしたいです。デジタル技術を活用した学習を進める一方で、人間教育というのは対面ですから、こうしたバランスを持って推進していくことを、成長戦略を通じて具現化していく。そこに尽きると思います。そういう考えで選挙戦に臨み、選挙で結果をいただいたので、それを今、愚直に推進している段階です。

02 能登の暮らしを支えるための基盤整備

矢野　私は珠洲市に住んでいるんですけれど、一九六〇年には三万六千人いた人口が二〇二〇年には一万二千人になりました。商工会議所も加盟者が軒並み少なくなり、商工会議所として成り立っていかない状況です。また、医療も珠洲市に産婦人科医がいなくなってしまい、助産師さんだけでサポートしています。私たちはふるさとが大好きですし、能登についてどんな施策を考えられているかお話をお聞かせください。

知事　奥能登の輪島市、珠洲市、穴水町、能登町の地域的な繋がりを大事にして欲しいと思います。そして、谷本知事の時代に無料化したのと里山海道や、のと里山空港の開港の効果は大きいと思います。大きな動脈としてあと一つは東海北陸自動車道、能越自動車道ですね。東海北陸自動車道が全線四車線化になり、のと里山海道と連結できれば、交流人口を拡大する上での基盤が形成されます。そして、そこに付加価値を与えていくためには、世界農業遺産、トキの放鳥、奥能登国際芸術祭、温泉、食文化、祭りなどについて、これら様々な

のと里山空港

03 「ないものはない」ことが能登の強み

矢野　私は商工会議所の手伝いもしておりまして、珠洲市のために何かできないかと常にみんなで考えています。それで、今から十五年ほど前に佐渡のトキをぜひ珠洲で放鳥したいということで、私らの会社とＮＰＯ法人「能登半島おらっちゃの里山里海」が提携して五ヘクタールのビオトープを三崎町につくりました。

知事　そんなに前から活動されていたんですね。

矢野　それから、ドジョウの漁場や無農薬地帯もつくりました。今は、サントリー基金のお金をもとに活動をしているんですが、無農薬地帯にたまたま佐渡からトキが一羽やってきたんです。三年ぐらいは一羽でしたが、二羽になったこともありまして、二羽が一緒に写った写真もあります。

知事　それはすごいですね。

矢野　そういう地道にやってきたことと、芸術祭がうまく繋ぎ合わせられないかなと考えていた時に、佐渡にいるトキの放鳥地を探しているというニュースを朝のラジオで聞いたんです。それで、そのまま朝一番で珠洲市長のところへ行って、市としてもすぐに動いて、一番先に手をあげましょうとお願いをしました。そして、この八月にまずは石川県と能登の九市町がトキ放鳥の候補地としてうまく選定を受けることができて喜んでおります。今は、次にどういう手を打てばいいかという話をしている最中です。

知事　「ないものはない」。この言葉には二つの意味があって、何もないという開き直りの意味と、何でもあるという表現でもあるんです。「あえのこと」という風習に表されているように、自然環境の中で穫れる食材をはじめ、豊かさを運んできてくれることに対する感謝。それはまさしく「ないものはない」と言えるほど、あるものを最大限に活かした豊かな何かがあるという表現です。最果てだから「何もない」かもしれないけれど、「何でもある」という発想を逆転させることが素晴らしいところだと思います。厳しさこそ、むしろ売り物にできると思います。最近、私がなるほどなと思ったのが、キャッシュレスの時代ですから、５Ｇの通信環境があればまさしくやりたい放題なんです。実証実験の自動運転の車や、最近はドローンもありますし、近いうちに有人ドローンもきっと出来ると思います。そういった意味で、何もない中で生活してきた先人の知恵をあるものとして、残していくこと、ビジネスにしていくこと。また、コロナの影響でテレワークやリモートワークが普及しました。ＧＩＧＡスクール構想が進んだのも間違いありませんから、珠洲市で勉強しても東大に入れますし、珠洲市に住んでいるからと言ってオリンピックに出られないということはないんです。珠洲市から頑張って、東大生やオリンピック選手を出しましょうよ。珠洲市からノーベル賞受賞者や、人間国宝を出すことも出来ますよ。珠洲市という理由であきらめることは良くないです。それから、奥能登には、自分に対する追い込みであったり、孤独というものがありますよね。自然の中にいると孤独を感じることが出来ると思うんです。そして、その孤独は人間の心をとても豊かにします。そして、人のつながりを強くするんです。人を鍛える、人の心を豊かにする地域であることが、珠洲市や奥能登の強みだと思います。

04 デジタル化のためのエネルギー確保

市山　イーロン・マスクの友人が書いた『２０３０年』という本がベストセラーになっていますが、二〇三〇年にはほぼ自動運転化がされ、空を飛ぶ車も動いているということです。そうすると、奥能登の不便であることがすべて解消されるかもしれないですね。

矢野　私みたいなデジタルに疎い人間が運転できるか分かりませんが、デジタル化によってリモートワークが可能になってきていることは事実ですよね。実際に本社機能の一部を珠洲市に移されて、社長自らが移住されてる会社もあります。

知事　行政で言えば、インフラ整備、再生可能エネルギーですよね。データセンターがないことにはドローンにしろ、有人飛行機にしろ、無人自動車にしろ、動かすことは出来ないはずで、膨大な量のデータを処理するには、莫大な電力の供給体制が必要になってきますから。それを踏まえて、風力発電なのか、太陽光発電なのか、現実的なエネルギーの供給体制も確保していくという

県民一人ひとりが、幸福を実感できる石川県へ。

ことを同時に考えて、まさしく自然環境にやさしいエネルギーの確保について考えていかないといけないと思います。

矢野　輪島市から珠洲市にかけて風力発電などが計画されていますけども、すぐに出来るという訳ではないですし、なかなか難しいことかなと思います。また、奥能登のことが好きで生活している人のことも考えて、そういう計画を進めてほしいと思います。

市山　確かに知事が仰られるように、莫大な電力量というのは何をするにしても確保しておかないといけないですよね。

知事　そうなると思います。

市山　風力発電や太陽光発電が、石川県でも盛んに作られていますけど、志賀原発についてはもったいないことをしているなと思うこともあります。全国の電気事業連合会では、使える原発は再稼動していこうという考えのようですが、石川県のエネルギーに関しましていかがでしょうか。

05 北陸新幹線敦賀開業を見据えての三県連携

知事　環境に配慮したエネルギー供給量を確保していくこと、これに尽きると思います。そのために技術開発もされている訳ですから。北陸電力と協力しながら安定的な電力供給量を確保していく努力をしていくことが必要だと思っています。

市山　知事は富山県の新田知事と親しいということで、富山県、石川県、福井県の連携に大きく期待しております。差し当たって北陸新幹線の敦賀開業もあり、北陸三県で協力しあうこともあると思うのですが、その辺りのことについてお話をお聞かせください。

知事　北陸三県の知事がメールや電話で情報共有したことは、県庁職員の皆さんとも共有しており、常に情報を共有できる環境はとても大事だと思っています。それから、富山県、石川県、福井県を合わせた人口は二八三万人ほどだったと思いますが、この人口は横浜市の人口と比べても少ないんです。そうすると私たちは日本海側のど真ん中に位置する地方自治体として、ライバル意識を持つだけではなく、みんなで協力しあって、北陸地域全体の交流人口を拡大し、企業を誘致し、産業を振興して、富山県も、石川県も、福井県も、みんなが豊かになるように足並みをそろえることです。その上で、競争もしながら政策を磨き合うことが大事だと思います。一年半後の北陸新幹線敦賀開業に向けては、二つのアプローチをしています。三県が協力して、例えばサイクリングロードを繋ぎましょうとか、都心でのキャンペーンを一緒にやりましょうとか、相乗効果をもたらすことのできる協力はどんどんやっています。同時に、国に対して、敦賀から大阪に向けての新幹線が一日も早く整備されるように一緒に要請していきます。関西と繋がり、また乗り換えて中京と繋がることは北陸の発展に繋がりますし、日本の発展に繋がりますから。

矢野　その通りだと思います。私の住んでる能登半島の突端は金沢よりも富山や新潟が近いですし、北前船の頃から交流がありました。新田知事のおじいさんも輪島市出身なんです。そして、珠洲市には珠洲焼もありますが、瓦の産地でもあったんです。あまり知られていないことですけど、佐渡島の瓦の九十五パーセントは珠洲産だそうです。産業面、文化面から言っても、富山県とは非常に近いものがありますし、福井県も一緒になって連携すればより一層良い産業、文化ができると思います。

06 部活動改革と、地域拠点としての学校

市山　学校の休日の部活動について、三年以内に地域に移行することが国で検討されています。ただ、県スポーツ協会などでは、「公立中学の部活が次第に弱くなっていくのではないか」、「熱い思いで指導する先生が少なくなってしまうのではないか」というような心配する声も上がっています。

矢野　私らが学生の頃の部活動では、時には厳しく、熱心に指導を頂いた記憶があります。そんな経験があって我慢することだったり、次は失敗しないようにしようと思う部分もありました。また、昔は道徳という授業がありましたが、今では道徳という時間がないんですよね。

市山　文科大臣をされ、もともと学校の先生でもあった知事として、部活動についてのご意見をお聞かせください。

知事　私は自民党のスポーツ立国調査会長にも就きましたし、スポーツ政策に二十年以上関わってきました。その立場から申し上げますけど、部活動改革はしなければいけないです。一点目は、教師の多忙化解消。二点目は、部活動を一生懸命やりたいという教師もいるので、報酬を持って対応できる仕組みづくりが必要です。三点目は、学校の役割にも繋がりますけども、部活動を指導する以上は、指導者が心身の健康を踏まえた専門性を備えることが必要です。まさしく体罰とか、いじめとか、刑法犯に触れるような事案を発生させないためです。しかし、いじめは自然発生的に起こってしまうものなんです。これをなくすためにどうすればいいか、みんなで話し合って熟議することが大切です。「そんなことしたらダメやろ」、「言われた者の立場になってみようよ」という対応や、みんなで一緒にトイレ掃除をするとか、朝のあいさつ運動をするなどを積極的に実施することが大事です。そして、その行動の意義を理解し、人の役に立つことが生きている一つの意味だと理解できるように導くことが、学校の本来の役割だと思います。こうした道徳の倫理観が導かれていかないと教育の役割は果たせないと思います。自分の役割を磨いて、発揮して、他人のために役に立つように努力すること。特に部活動の場合は、泣いたり、笑ったり、怒ったり、悔しがったり、感情を出していくこと、そして感情をエスカレートしないようにコントロールすることが部活動の役割なんです。今までみたいに規模だけで価値観を測っていたら、一クラスの人数がいなくなったら廃校にせざるを得ないんです。どうやって学校を残していくか。学校は地域社会の拠点です。だから、そこに地域社会の専門性のある人が入っていくことがあってもいいと思うんです。小学校と保育所、介護施設が合築してもいいんです。縦割りの考えではなくて、むしろ発想を変えてみんなで使えるものとしないといけないと思います。学校は、人が集まるから意味があるんです。

07 幸福を感じるための、ふるさと教育

県民一人ひとりが、幸福を実感できる石川県へ。

市山　そろそろお時間がきましたので、最後に知事がこれから取り組んでいきたいと思われていることをお聞かせください。

知事　やっぱり向上心は必要ですよね。それと、平和を求める思いというのは常に大事にしたい。向上心を持つためには、常に学び続けることが大切です。それが報酬にも繋がりますし、稼ぐ人はどんどん稼いで、税金や保険料を払って、セーフティネットを守る必要があると思います。障害者の人権を守っていく上でも、DVや離婚で負担がかかる女性を支える仕組みのためにも財源が必要なんです。様々な税制もありますが、産業を振興して、儲かったらちゃんと税金を払い、その財源を生活保護やセーフティネットにまわす。そのためにも、気持ち良く税金や保険料を払ってもらえるようにしないといけないと思っています。それから、一番大事なことはやっぱりふるさと教育ですね。ふるさとに対する愛着、愛情、また親に対する感謝の気持ちを持たなかったら生きている意味がないです。一人ひとりの幸福度を上げるためにも、自分が生きていることを実感し、「良かったな」と感謝できるようにしないと。そういう意味でふるさとに自慢をしたり、おいしいものを食べて「旨いな」と思えることが大切です。自分で田畑を耕して、畜産もして、海へ行って漁もして、自分たちで獲得することは第一次産業の原点ですから、自分で獲るという欲を磨いてはじめて旨いものは旨いんです。

矢野　おいしいと言えば、これから珠洲市のマツタケがおいしい季節です。

知事　松茸、旨いですよね。

矢野　例年は十月初旬から徐々に穫れ始めるんですが、去年は天候の影響で十一月の後半になって穫れたんです。そうしたら、もうカニも出まわっていますから、松茸が贈答品にならないんです。だから、生産者はお金にならなくて困っておりました。

知事　そうなんですか。珠洲市へ行ったら、塩むすびを食べたいです。

矢野　塩むすびなんて寂しいことを言わないでください。珠洲市にはいっぱいおいしいものがありますから。

知事　狼煙の豆腐もおいしいですよね。

矢野　前の知事は、この豆腐はおいしいからどこでも売るなと言われていました。せっかくやから狼煙でしか売るなと。使ってるのは昔のあぜ豆なんです。それを生産者の方が復活させて、大浜の大豆として栽培しているんです。

知事　観光を考えるときに、「こだけ」、「あなただけ」というのは大事な切り口ですよね。

矢野　珠洲市には能登杜氏四天王がいましたから、お酒も美味しいし、良いところがいっぱいあります。

知事　そうですよね。能登は宝の山だと思います。

市山　そろそろ次のご予定もあると思いますので、今日はありがとうございました。

知事　こちらこそありがとうございました。

（一社）石川県地質調査業協会　理事　市山　勉

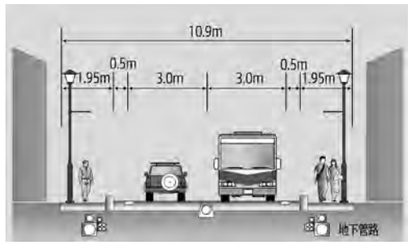
石川県知事　馳　浩

（一社）石川県地質調査業協会　会長　矢野　好二

写真提供：石川県庁

事業概要

路 線 名：都市計画道路　北国街道線
（県道 小松鶴来線、市道 龍助町九竜橋線）
地　　内：小松市西町～龍助町～本折町　地内
計画延長：L＝780m
（県道320m、市道460m）
幅　　員：W＝10．9m
事業期間：平成27年度～令和3年度
総事業費：約20億円



標準断面図

事業の効果

整備により次の3つ効果が期待されます。

❶沿道景観の創出

電柱・電線の撤去により、沿道の歴史的な街並みを活かした道路空間が形成されました。また、歩道の舗装や街路灯については、和風の落ち着いたデザインを採用し、街並みとの調和を図りました。

❷防災力の向上

無電柱化により、災害時においても電柱が倒壊することなく、緊急時の道路のネットワークが確保され、防災力の向上が図られました。

❸歩行環境の改善

無電柱化にあわせた歩道の整備により、歩行者と自動車が分離されたため、安全で快適な歩行空間が確保されました。

整備前の状況

整備後の状況

行政のささやき
GYOSEI NO SASAYAKI

都市計画道路
北国街道線の完成

はじめに

都市計画道路北国街道線は、小松市中心部を通る旧北国街道の一部であり、古くから多くの人・ものの交流を担う重要な道路です。また、沿道には「こまつ町屋」と呼ばれる、歴史ある街並みが現在も残っており、事業区間である小松市龍助町、西町界隈は、平成22年に小松市景観計画において、「伝統的景観重点地区」に指定されています。

しかしながら、これまでは電柱や電線が景観を阻害し、歩道が未整備であったことから歩行者や自転車利用者の安全性も確保されていない状況でした。

こうした中、沿線住民を中心とした「龍助町・西町　北国街道まちなみ協議会」によるまちづくりと合わせ、石川県と小松市で平成27年度より無電柱化と歩道整備に着手し、令和4年4月に完了しました。

石川県南加賀土木
総合事務所
道路建設課長
玉田（たまだ）　学（まなぶ）

まちなみ協議会

龍助町・西町において、北国街道の歴史的佇まいを残し、賑わいのあるまちづくりを実現することなどを目的として、事業着手に先立つ平成26年度に「龍助町・西町　北国街道まちなみ協議会」が設立されました。協議会では、『町衆文化の代表である「曳山」が似合う通り』をコンセプトに、小松市景観条例に基づく「龍助町・西町北国街道まちづくり協定」を平成29年2月に締結しています。沿道建物の新築や改築の際には、こまつ町屋の伝統的な建築様式を取り入れるなど、歴史的な街並みに配慮した景観形成を進めています。

こまつ町家

北国街道沿いには、「こまつ町家」と呼ばれる、伝統的建築様式をもつ建物が存在します。

小松市では、大切なこまつ町家を歴史・文化的財産として継承していくため、「こまつ町家認定制度」を導入し、認定された建物を紹介しています。

松雲堂

こまつ町家の伝統的な建築様式例

セガイ（船枻）

深い軒下を確保し、風雨や日差しから建物を守るため、柱から腕木がせり出し、棚状の小天井をもつ構造

ムシコ（虫籠）

外からの光や風を通しながら、視線を遮るための格子

また、事業にあわせて整備する歩道舗装や街路灯などのデザインについても、歴史的な街並みとの調和を図るため、石川県、小松市および協議会で検討を重ねた結果を採用しています。ともに「和」を基調としたデザインとしており、歩道舗装については薄いグレー系3色のパターン配置、街路灯についてはイベント時に活用できるようにフラッグアームのついた構造としています。

整備後の歩道

完成式

令和4年5月29日には、「龍助町・西町　北国街道まちなみ協議会」の主催による「都市計画道路北国街道線　完成を祝う会」が行われ、馳石川県知事、宮橋小松市長をはじめ、県・市議会、地元地権者・工事に携わった方々などが集まり、道路の完成を盛大に祝いました。

完成式

完成を祝う会の様子

賑わい創出に向けた取り組み

まちなみ協議会の「にぎわい部会」の若手商店主メンバーが中心となり設立した「北國とおり町にぎわい協議会」では、ホームページの作成をはじめ、プロジェクションマッピング、モニターツアーの開催など、地域の賑わいの創出に向け、様々な取り組みを行っています。

令和4年7月には無電柱化、歩道整備完成後初めてのイベントとなる“縁日”が開催されました。

縁日の様子

北國とおり町マーケットの様子

夏休みの賑わい企画として金沢大学の学生とコラボし、スーパーボールすくいや、かたぬき、ヨーヨー釣り、射的といった出し物と、綿菓子、焼き鳥等を販売し、美しい街並みとなった北国街道線で、そぞろ歩きを楽しむ様子が見られました。

さらに、令和4年10月には、台風とコロナ禍により開催が見送られてきた「北國とおり町マーケット」が4年ぶりに、小松市どんどん祭りにあわせて開催されました。曳山特別展示やフード・雑貨・ワークショップなど20以上の出店やイベントで、当日は多くの人で賑わいを見せました。

おわりに

北陸新幹線金沢～敦賀駅間開業を1年後に控え、まちなみ協議会では、整備された北国街道線を活用し、今後も市内外からの誘客や町の活性化を図る様々なまちづくり活動が展開されていきます。この事業完成により、龍助町・西町の賑わい創出はもとより、小松市中心市街地のさらなる発展に寄与することを期待しています。

最後に本事業を進めるにあたり多大なご尽力を賜りました関係各位に、この場をお借りして心からの感謝を申し上げます。

主要地方道能都穴水線
鹿波（かなみ）バイパス開通

行政のささやき
GYOSEI NO SASAYAKI

石川県
奥能登土木総合事務所
主幹兼都市施設係長
松生（まつお）　智（たくみ）

はじめに

主要地方道能都穴水線は、能登町鵜川から七尾湾北側沿岸部の各地区を結び、穴水町比良に至る延長24キロメートルの路線であり、地域の生活を支える重要な道路です。

沿線にはボラ待ち櫓や、国指定重要文化財の石造五重塔がある明泉寺、能登独特の黒瓦の家々、能登ワインのワイナリーなどがあり、七尾湾北側沿岸の観光道路としての側面もあります。また、いしかわ里山里海サイクリングロード（奥能登ルート）の一部となっているほか、平成17年に廃線となった「のと鉄道」の代替バス路線にもなっています。

このため、これまでも幅員の狭い箇所において、車両のすれ違いに必要な待避所を設置する1.5車線的道路整備を行うなど、安全・安心の確保に努めてきました。

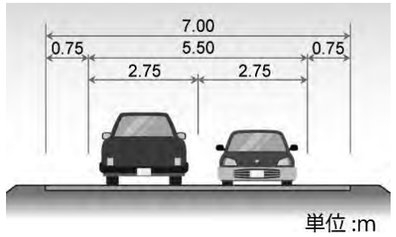
一方で、穴水町鹿波地内においては、現道が狭く車両のすれ違いが困難な状況であったものの、人家が密集しており現道での拡幅が困難な状況であったことから、県では平成8年に山側の高台に迂回するバイパス事業に着手し、令和3年7月に完成しました。

幅員が狭くすれ違いが困難

事業概要

今回開通した鹿波バイパスの概要は次の通りです。

路線名　：主要地方道能都穴水線
　　（鹿波バイパス）
事業箇所：鳳珠郡穴水町字鹿波
延　　長：L＝0．94km
道路区分：第3種第4級
幅　　員：W＝5．5（7．0）m



標準断面図

鹿波バイパス平面図

事業効果

鹿波バイパスの整備により次の三つの事業効果が期待されます。

❶ 円滑な交通の確保

これまで幅員が狭い人家連担部を通過していた交通が、今回2車線整備をしたバイパスをスムーズに通行するようになり道路利用者の安全性や利便性が向上しました。

また、通過交通の転換により地域の皆さんが現道を安心して歩行できるようになるなど、日常生活の安全が確保されました。

供用後の利用状況

❷ 災害時の安全安心の確保

鹿波地区は七尾湾北側沿岸に位置しており、その一部は津波の浸水想定区域に指定されています。

山側の高台に迂回するバイパス整備により、津波等の災害時には緊急車両の円滑な通行が可能になりました。

また、バイパス整備に合わせ、接続する町道も整備されたことにより、バイパス沿いに立地する旧鹿波小学校や鹿波白山神社等の避難所への速やかな移動が可能となり、住民の安全・安心が確保されました。

高台にある避難所

行政のささやき
GYOSEI NO SASAYAKI

❸アクセス向上

鹿波バイパスの整備により、一般国道249号やのと里山海道へよりスムーズなアクセスが可能となり、穴水町の中心市街地や能登町へのアクセス性が向上し、観光面の効果も期待されます。

また、鹿波バイパスの近傍には、魅力的な風景を楽しみながら、ゆっくり周遊するための小規模な休憩施設「寄り道パーキング鹿波」も整備されており、晴れた日には立山連峰や海に浮かぶ能登島を望むことができます。

寄り道パーキング鹿波

ICT建設機械を活用した工事

今後、生産年齢人口が減少することが予想されている中、建設業では就業者の減少や高齢化の進行による担い手不足が課題となっています。

このような課題の解決に向け、県では、熟練した技術者に頼ることなく、より効率的で安全に工事ができるICT建設機械を活用した工事を実施しています。

鹿波バイパスも、自動制御の優位性を活かした効率的な施工が期待できる現場であったことから、ICT機械を活用した切土工事に取り組みました。

従来施工

ICT施工

施工効率の向上

ICT工事では、3次元設計データをもとに、簡単な操作を行うだけで、自動制御で設計どおりに切土や法面整形の作業を進めることができます。そのため、着工前や施工中に必要となる丁張り設置作業が不要となったほか、検測回数が減るため、工期短縮や施工精度の向上、現場施工の効率性向上を図ることができました。

安全性の向上

あらかじめ入力した3次元設計データをもとに施工するため、建設機械周辺での測量や作業指示、作業補助が削減され、安全に作業を行うことができました。

テープカット・くす玉開披

開通式

祝賀パレード

開通式について

令和3年7月24日に、晴天の下、前知事をはじめ、地元選出国会議員や県議会議員、地元役員、工事関係者の出席のもと、鹿波バイパスの開通式を行いました。

テープカットやくす玉開披に引き続き、祝賀パレードも行われ、地域の念願であったバイパス完成を盛大に祝ったところであります。

一方で、コロナ禍での式典開催となったことから、地権者のご招待を見送ったほか、県、町からの出席者も限定しました。また、これまで実施していた万歳や地域の子供たちによるアトラクションを中止にするなど規模を縮小し、感染対策を徹底した上での開催となりました。

おわりに

鹿波バイパスは現在多くの方々にご利用いただいております。

沿線にはヤブツバキの群生地が随所に見られ、当該事業箇所の鹿波地内にある寄り道パーキングでは能登島と立山を背景にヤブツバキとのコントラストを楽しむことが出来ます。

皆さんも能登半島へお越しの際には、是非、鹿波バイパスを利用して「寄り道パーキング鹿波」にも寄り道していただき、世界農業遺産「能登の里山里海」の原風景を堪能していただければと思います。

最後に本事業を進めるにあたり、多大なご尽力をいただきました関係各位にこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

郷土の豊かな自然と悠久の歴史から、より「能き美来」を育む能美市

古墳からの数々の出土品を展示している古墳展示室

01 能美市の位置・特徴

能美市は、石川県南部にある加賀平野の中央に位置し、金沢市とは約20㎞の距離です。人口は約5万人、面積は約84㎢のコンパクトな市で、北は川北町、東は白山市、南は小松市に隣接しています。白山から流れ出る手取川の扇状地、日本海に面した根上海岸、白山山系に連なる能美丘陵があり、海・山の自然と平野に恵まれた地です。

02 能美ふるさとミュージアムの誕生

令和2年（2020）10月に、博物館「能美ふるさとミュージアム」が誕生しました。手取川がもたらす豊かな自然環境や、旧石器時代から続く人々の営みを今に伝えてくれる文化財の保存・活用を進め、次世代へ継承する拠点施設です。

能美古墳群の1つである和田山古墳群の麓に建設され、能美の歴史を身近に感じられる立地です。また、「能美」の魅力やふるさと愛が「フル」に溢れる場に、年齢問わず楽しんでもらえる場に、との思いを込めて愛称は「のみふる」とし、多くの人に親しまれる博物館を目指しています。

03 少年が歴史を変える欠片を発見

昭和35年（1960）、地元の考古学好きの中学生が灯台笹町の畑で、白色の石の欠片を見つけました。調査の結果、約2万2千年前に旧石器人が使用したであろう石器だったことが分かりました。その後、県内初の旧石器時代の遺跡発掘調査が行われ、灯台笹遺跡と名付けられました。この大発見は、石川県の歴史を新たに塗り替えたと同時に、石川県の黎明期を解き明かすきっかけにもなりました。

能美ふるさとミュージアム
〒923-1121
能美市寺井町を1-1
Tel：0761-58-5250
Fax：0761-58-5251

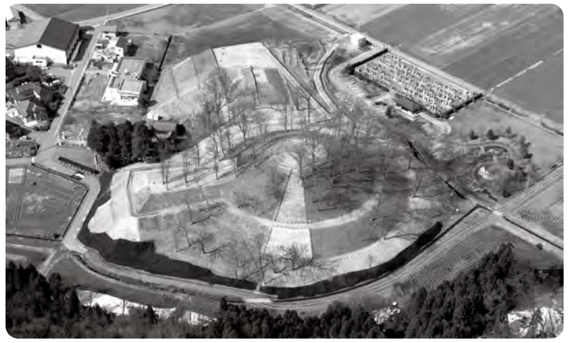
能美ふるさとミュージアム
学芸員
鎌田 康平（かまた こうへい）

04 国指定史跡 能美古墳群

能美古墳群は、平野部に分布する5つの独立丘陵である寺井山・和田山・末寺山・秋常山・西山に造られました。80基以上の古墳があったと考えられ、古墳の基本的な形である前方後円墳・前方後方墳・円墳・方墳などが揃っており、3世紀前半から6世紀後半にかけて継続的に築造されています。平成25年（2013）に、国指定史跡となりました。

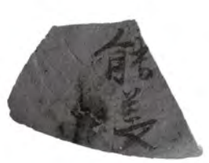
中でも、秋常山1号墳は墳長約140m、高さ約20mを誇る北陸最大級の前方後円墳です。斜面には「葺石」として、手取川の川原石が約40万個も並べられたと考えられ、川原石が太陽の光に反射して白く輝いていたことでしょう。東側の「造出」からは朱を塗った高杯が出土し、儀礼舞台があったとされます。埋葬施設の発掘調査は行われていないものの、こうした特徴から「加賀の大王」が眠っているのかもしれません。

また、和田山1号墳からは六鈴鏡、和田山2号墳からは鈴付銅釧、和田山5号墳からは鉄の甲冑や武器、和田山23号墳からは国内最古の刻書須恵器が確認されています。こうした多彩な副葬品からも古墳の時期や特徴を知ることができます。


上空から見た秋常山古墳群

05 加賀立国と「能美」銘墨書土器

弘仁14年（823）3月に加賀国が誕生し、同年6月に江沼郡から分立して能美郡も誕生しました。元々は「野身」と表記されていましたが、「能力ある美しい地」という縁起の良い文字に変えられ、「能美」と名付けたと考えられます。以降、名は受け継がれ、今年で1200年の節目の年を迎えます。


市指定文化財の「能美」銘墨書土器

06 能き美しき能美の自然

歴史だけでなく、海から山にかけての豊かな自然も能美市の特徴の1つです。

ハマナスなどの海浜植物が咲き誇り、県指定希少野生動植物種のコアジサシなどが渡来する根上海岸。日本一小さいトンボ「ハッチョウトンボ」など30種類ものトンボが確認されている灯台笹町の灯台笹湿地。

この他にも後世に守り伝えていかなければならない貴重な自然環境があり、能美ふるさとミュージアムでは実物大のジオラマで、動植物の様子を紹介しています。

また、平成13年（2001）に小長野町の小長野C遺跡から墨書土器が数多く出土し、その中に「能美」と書かれた須恵器が発見され、大きな話題となりました。

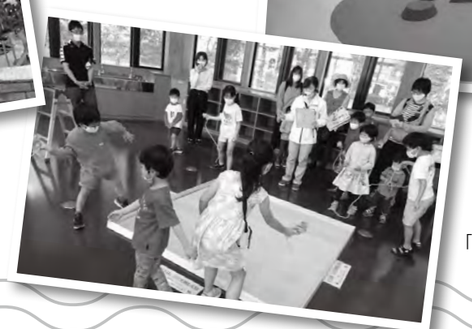
07 共に成長する博物館づくり

能美ふるさとミュージアムでは、年齢を問わず、親しんでもらえるような活用を行なっています。「のみふる賑わいイベント」と題し、こどもの日に開催したコマ回し大会、ホタル観察会、出土品をデザインしたオーナメントを飾り付けるクリスマスイベントなど、多くの方にご来館いただいており、今後も「また来たい」と思っていただける様々なイベントを企画していきます。また「こどもミュージアム　のみっけ」も好評で、連日、子ども達が遊びながら学んでいます。

能美市の魅力を発信する拠点として、来館者の皆様と共に成長する博物館に、是非足を運んでいただけたら幸いです。

「のみふるクリスマス」で飾り付け

館内の「こどもミュージアムのみっけ」は、未就学児の親子連れに人気のゾーン


「のみふる子どもまつり」のコマ回し大会

手取川と共に発展を続ける川北町

川北まつり（大かがり火）

川北まつり（虫送り太鼓）

川北町役場
土木課係長
山村（やまむら） 俊行（としゆき）

01 はじめに

川北町は石川県の加賀平野のほぼ中央部に位置し、霊峰白山を源とする手取川の右岸に沿って拓かれた面積14.64㎢、人口約6,200人の町です。手取川のもたらす豊富な水と肥沃な土壌により、県内有数の穀倉地帯として発展してきましたが、企業誘致を進めることによりバランスのとれた街づくりを進めています。

02 夏の風物詩 川北まつり

例年8月第一土曜日に開催している「川北まつり」は、五穀豊穣を祈る伝統行事の「虫送り」と、あばれ川の異名をもつ手取川の大洪水により亡くなられた御霊をなぐさめる「送り火」をあわせたまつりで、真夏の夜を彩る北陸の風物詩となっています。夕闇迫る頃、本町の郷土文化を表現した「比楽河撫子舞（ひらがわなでしこまい）」や「手取亢龍太鼓（てどりこうりゅうだいこ）」の演奏から、音と光の祭典が開幕し、会場の手取川簡易グラウンドでは、多くの町民が手にする「送り火」が幻想的な雰囲気を醸し出しています。そして、高さ43ｍの「大かがり火」が点火されると、炎は天をも焦がさんばかりの勢いで燃え上がり、それと同時に打ち鳴らされる「虫送り太鼓」の熱気あふれる共演で、まつりは最高潮を迎えます。

更には、もう一つの目玉として、北陸最大級の大花火大会があります。尺玉や創作花火、ウルトラスターマインなど、2万発の花火が打ち上げられ、色鮮やかな大輪と体に響く花火の音は、県内外からの多くの観客を魅了しています。

03 手取川がもたらす豊かな特産品

手取川の氾濫がもたらした肥沃で水はけの良い土壌のおかげで、川北町東部地区では柿の生産が盛んです。四角く平らな形でシャキシャキした食感の次郎柿やふっくらとした丸い形で柔らかい食感の富有柿が生産されています。またイチジクの生産も盛んで、現代風にアレンジしたイチジクと粒あん入りのどら焼き「いちじく太鼓」が注目されています。町の特産品であるいちじくと町の伝統行事「虫送り太鼓」から名づけられ、生地がもちもちしているのが特徴です。そのほか、地ビールの生産も盛んで、麦の栽培から醸造までを一貫して行うこだわりの製法で作られています。フルーティな味わいのクラフトビールをぜひご堪能下さい。

クラフトビール

次郎柿

いちじく太鼓

04 手取川をもっと身近に

手取川の東部、中部、西部に3箇所の水辺の楽校拠点を整備しており、自然とのふれあいを通じて得られる生活体験を大切にしています。特に中部拠点であるコミュニティー&スポーツ公園では野球やソフトボール、テニス、グランドゴルフが楽しめるほか、イベント広場では自衛消防大会など様々な活動が行えるよう整備されています。そして堤防沿い約1キロにはソメイヨシノやシダレザクラが合わせて209本植えられており、春の時期には満開の桜が楽しめます。またこの堤防は石川県サイクリングルートにも活用されており、通年多くの方にご利用いただいています。

グランドゴルフ

桜づつみ

05 多目的運動公園（仮称）整備開始

今年度より、町民からの要望が多かった多目的運動公園（仮称）の整備が始まりました。総面積は2.8haで、芝生広場や複合遊具、100m走路やジョギングコースを備え、令和5年度に完成予定です。この公園が、町民の健康づくりや、憩いの場として子供から高齢者の方の交流の場として利用され、また有事の際には、防災の拠点としての役割も担っています。

多目的運動公園（仮称）完成予想図

06 最後に

川北町は、明治40年8月に中島村、草深村、砂川村の3つの村が合併し、誕生して以降、昭和55年4月に町制を施行、行政区域の変更もなく、現在に至っています。今後、本格的な少子高齢化、人口減少社会が到来し、地方を取り巻く環境がより一層厳しさを増す中、川北町が持ちうる資源に磨きをかけ、より魅力ある町づくりに引き続き取り組んで行きたいと思います。

FAVORITE

Shop

LOVE

Idol

私の地元は珠洲市です。

あまり知られていないかもしれませんが、珠洲市には美味しいお店が沢山あります。

もっといろんな人に珠洲市のお店を知ってもらいたいので、いくつか紹介したいと思います。

イタリアンカフェこだま

こだまは地元の旬の食材を使用したピザやパスタが楽しめるお店です。

土日は地元の人で賑わっています。

一番人気なのは王道のマルゲリータ、2位は珠洲こだまピザとなっています。珠洲こだまピザは珠洲の特産物を使用していて、時期により具材が変わるそうです。

私のおすすめはこきりピザというきのこのピザです。ピザの他にもカルボナーラや釜焼きカレーも美味しいです。

しお･CAFE

しお･CAFEは海のそばにあるので、綺麗な景色を眺めながら料理を楽しむことができます。

特にパンケーキとビーフシチューが有名です。

パンケーキでは奥能登の塩、ブルーベリー、大納言小豆などが使用されています。生地には「しおサイダー」という珠洲市のご当地サイダーが使用されておりとてもふっくらとした食感です。

ビーフシチューは能登牛が使用されてます。

能登牛を使用したビーフシチューは珍しいと思うので、食べてみたい方は是非立ち寄ってみてください。私はまだパンケーキしか食べたことがないので、次行った際にビーフシチューも食べてみたいと思います。

古川商店

古川商店は地元の方々から愛されているパン屋さんです。小さい頃親が連れて行ってくれて、焼きそばパンとクロワッサンをよく食べていた記憶があります。今あるかは分からないのですが、目玉焼きがのったおひさまトーストも好きでよく食べていました。

最近は観光客も増えてきていて、1番人気は冷やしクリームパンだそうです。たくさん種類があり季節によって商品が変わるそうです。

また、値札などに可愛いイラストも書いてあるので、それも見ながらパンを選ぶのも楽しいです。

他にも美味しいお店はあるのですが、特におすすめしたいお店を3つ紹介しました。

珠洲に来る機会があれば、是非行ってみてください。

私はこの年齢ですがジャニーズが大好きです。つまりジャニーズ＝アイドルなのです。振り返ってみて、アイドルにハマったのが中学1年の頃からですかね。その当時の私は、新御三家の中の一人〖郷ひろみ〗のファンでした。部屋には、ポスター等貼り付けて「にやにや」してた記憶があります（笑）。テレビでは歌番組やドラマを見て、見終わるまでは釘付けで何も手付かずの状態でしたね（またまた笑）。今でも〖郷ひろみ〗は、年齢を感じさせることなく、踊って歌って、本当に格好良くて素敵です。勿論、今でもファンです（一番ではないのですが）。

で、今一番押してるのは〖Snow Man〗と言う9人組男性ジャニーズのアイドルグループです。デビューは2020年1月22日で、2022年の1月22日で2年経ちました。バク転、バク宙を軽々とこなし、華麗に踊ってそして歌って、もう最高です。見てても飽きる事など絶対にありません。それこそ、〖Snow Man〗がテレビに出ると分かっていれば録画予約は必ずします。〖Snow Man〗2年目にして歌番組、バラエティー番組、ドラマ番組、CM等とテレビで見る事が多くなりました。大活躍中です。テレビを付けて、偶然にも〖Snow Man〗が出てたら『ラッキー』と心の中で叫び、テレビに釘付けになります。そんな私を見て、夫は「もう60歳にもなるばーあさんが・・・何をやってる・・・」って、とても冷めた目で見て呆れ返ってます。でも私は、そんな夫の言葉にも動じません。だって、大好きな人達が出てるテレビを見て癒されているからです。ここだけの話、キレッ！キレ！なダンスを踊ったり歌ったりしてる人達見てると、気持ちが若返って来るものなのです。自然と自分の身体が動いたりもしてね。良いものですよ・・ホントここだけの話ですが・・・。

そして、嬉しいことに私の娘もジャニーズが好きで（私ほどではないのですが）、年末のテレビ番組ジャニーズのカウントダウンでは、共通な話題が盛り沢山なのできりがないくらい話し込んでいます。その様子を、娘婿が一歩下がった感じで私達親子を見てますね（少し汗）。視線を感じるので分かります（笑）。娘婿には悪いのですが、いつかは女孫（6歳）も一緒に話で盛り上がりたいです。・・・実は、男孫（4歳）もいるのですが、もしも、、その子（孫）がジャニーズに入所したらならばチョー嬉しいです。勿論ファンクラブにも入り応援します。絶対に・・・老後の楽しみ一つ増えました（笑）。これからも、ずっとジャニーズが好きな自分でいたいです。

最後に、今までにジャニーズを一番に押していた私の経歴とは、郷ひろみから始まって田原俊彦（トシちゃん）、kinki kids（2人）、king＆prince（5人）、そしてSnow Manですね。にやにやが止まりません。（大笑い）

PS:どなたかジャニーズの好きな方がいましたら、話しをしませんか～。
あと、何でもよいので〖Snow Man〗の新情報あったら教えて下さい。
また色々と楽しみが増えます。有難うございました。

興信工業　株式会社
澤田（さわだ） 有加（ゆか）

国際地研　株式会社
松村（まつむら） みなえ

猫のいる暮らし

■テーマ
Free talk
■ number.
01

中部地質 株式会社
佐伯（さえき） 一真（かずまさ）

「わた」です。

チンチラシルバー
オス、4歳

大好きな
おもちゃで遊ぶ

お迎え数日後の
「わた」

皆さんは日々の疲れやストレスを何で癒していますか。私はペットの猫に癒してもらっています。チンチラシルバーのオスで今年4歳になります。綿のようにふわふわしていることから「わた」と名付けました。

出会いのきっかけは猫カフェでした。ペルシャ猫が私のお気に入りで、よく遊んでもらっていました。猫カフェが閉店する際に、店員さんと色々お話をしているとそのペルシャ猫のブリーダーさんが七尾辺りにいると教えてもらい、SNSを通じて連絡を取ったことが縁でわたと出会うことができました。

購入が決まり迎えに行った際、ブリーダーさんからは「しばらくは怖がってケージからなかなかで出てこないだろう」と言われていましたが、わたはケージに入れると出せとばかりに大声で鳴き、ケージをよじのぼって更に出せとアピール。ケージの中で夜を過ごすのは初日だけとなりました。よくお医者さんやトリミング屋さんには図太い子だと言われますが、思えばこの頃からその片鱗を見せてくれていたのでしょう。

小さい頃からたくさん話しかけたせいか、わたはよく喋ります。話しかけると返事をしてくれるし、わたの方から話しかけてくることもよくあります。当然何と言っているかは分かりませんが、ちゃんと使い分けがあるようです。帰宅した際は「うなっ」、ご飯が欲しいときは「うーなー」、構ってほしいときは「なっ」、「うなっうー」などと表情や声色、抑揚に微妙な違いがあり、表情や声から察する所は人付き合いに通ずるものを感じます。

猫はお金や手間がかかることも多いですが、ただ眺めているだけで時間があっという間に過ぎ、とても癒されます。皆さんも猫のいる暮らしはいかがですか。

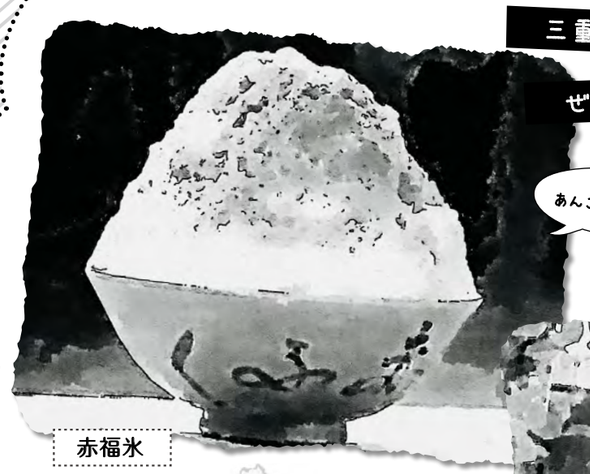
株式会社 ホクコク地水
大西（おおにし） 浩之（ひろゆき）

三重のおすすめグルメ

■テーマ
Free talk
■ number.
02

株式会社 ホクコク地水
大西（おおにし） 浩之（ひろゆき）

私の地元
三重県に行った際に
ぜひ味わってください。



赤福氷

老舗の夏季限定グルメ！

めはり寿司

日本最古の大きな
ファーストフード？

私はいろいろな所へ旅行に行き、観光しながらその土地の名物を食べることがとても好きです。ここ数年は新型コロナウイルスの影響でなかなか旅行へ行けていませんが、最近は行動規制も少しずつ緩和されてきています。一人一人が基本の感染予防対策を徹底して、少しずつ元の生活に戻り、気兼ねなく旅行に行くことができるようになってほしいと願っています。

そんな中、今回は私の地元である三重県のおすすめグルメを紹介したいと思います。三重県には老若男女が楽しめる観光地や遊園地がたくさんあるため、三重県に旅行に来られた際には今回のおすすめグルメを是非味わって頂ければと思います。

老舗の夏季限定グルメ！「赤福氷」

三重県のグルメで第一に思い浮かぶのが「赤福」だと思います。そんな馴染みのある赤福の夏季限定グルメで「赤福氷」というものがあります。フワッとした氷に抹茶のシロップがかかった一見普通のかき氷なのですが、かき氷を食べ進めると中からあんことお餅が出てきます。抹茶シロップとあんこの相性は言わずもがなのですが、氷で冷えて少し締まったお餅がいつもと違う食感でとても美味しい一品です。しかもこの「赤福氷」に使われているあんことお餅は「赤福氷」用の特製のものというこだわり深い一品です。4月中旬頃～9月中下旬頃までの限定グルメですので夏に三重県を訪れた際には是非ご賞味下さい。

日本最古の大きなファーストフード？「めはり寿司」

紀州・熊野地方に伝わる「めはり寿司」はごはんを高菜の浅漬けで包んだとてもシンプルなグルメになります。特徴はその大きさで、一説では7世紀頃「きのくに」として栄えており、きこりの方などが手早く食事できるようにソフトボール大の大きさの「めはり寿司」ができたのが始まりとされています。その大きさのため、口も目も見開いて食べることから「めはり寿司」と言われているとか…。シンプルな料理ですが昔懐かしい気持ちにさせてくれるそんなグルメです。

協会ニュース

講演会

令和4年度　講演会の開催

白山市観光文化スポーツ部長　山下浩雅氏をお迎えし、ご講演をしていただきました。

「世界認定を目指す白山手取川ジオパーク」をテーマに、ジオパークの成り立ちや白山手取川ジオパークは、水の旅、石の旅から生まれた生活の場や豊かな恵みにより形成され出来ていることを大変、わかりやすく説明していただきました。

改めて、大地と自然と人間が深くつながりあっていることを再認識する貴重な講演となりました。

「世界認定を目指す白山手取川ジオパーク」

講師
白山市観光文化スポーツ部長
山下（やました）　浩雅（ひろまさ）　氏

日　時　令和4年5月13日（金）
場　所　17時～18時
受講者　金沢ニューグランドホテル
　　50名

協会ニュース

日本ジオパーク全国大会

第12回　日本ジオパーク全国大会　白山手取川大会

日本ジオパーク全国大会は、ジオパークプログラムの理念と取り組みを広く周知するとともに、各ジオパーク地域相互の情報・意見交換を通し、より一層の発展と向上につなげることを目的に開催しており、第 12 回大会は白山手取川ジオパークをエリアとする石川県白山市において、「地球と旅する」をテーマに開催されました。

スペシャルトークショーや各種講演・発表、パネルディスカッションが各会場で開催され、屋外では地域特産品やお土産など地産地消を意識した商品や食材・飲食物の販売、伝統工芸品の展示･体験･販売、全国のジオパーク特産品や各種団体の PR ブース展示などが行われていました。

当協会ブースに列

白山手取川ジオパーク推進協議会と連携協定を締結している当協会としては、本大会への協賛とともに、10 月 22 日と 23 日の 2 日間、白山市松任文化会館ピーノ前広場で開催されたブース展示に出展し、白山手取川ジオパークとの活動紹介や地盤の出張無料相談、親子向けの簡単なゲームや体験などを催すとともに当協会の PR をしてきました。

岩石神経衰弱

ブースでは、テーブルに置いた様々な石で「岩石神経衰弱」をして、全部できたら「桑島化石壁の岩のかけら」が入ったガチャガチャをひとり一つプレゼントしました。ガチャガチャを手にした子どもたちは、恐竜時代の化石がみつかるかもと目を輝かせて石を手に取り一生懸命に見つめていました。

また、手取川の石を磨き、金具を取り付けて「オリジナルキーホルダー」をつくってもらいました。子どもたちはゲームやキーホルダーづくりに夢中になり、気付けば長蛇の列ができるほどで、あらためて子どもたちの「石好き」を実感しました。

手取川の石を磨いてつくる「オリジナルキーホルダー」

「桑島化石壁の岩のかけら」入りガチャガチャ

２日間を通して地域の方々や全国のジオパーク団体の方と交流をすることができ、大変良い経験となりました。次世代を担う子供たちに対して、身近な自然に触れることから地球環境への理解を促し、自然科学への興味につなげてもらえるような活動をこれからも続けていきたいと思います。

最後になりましたが、白山手取川ジオパーク推進協議会はじめ、全国のジオパーク団体、大会関係者の皆さま、この場を借りて深くお礼を申し上げます。今後も皆さんとお互いの活動をさらに連携・協力していきたいと思います。

会　期　令和4年10月21日（金）～23日（日）
会　場　白山市松任文化会館ピーノおよびJR松任駅周辺施設

協会ニュース

担い手確保・育成推進事業
小学生（4年生以上）対象

石の標本づくり in 白山手取川ジオパーク

令和4 年5 月21 日の土曜日、新型コロナ対策として例年の半数以下、親子20 組（小学4 年生以上）にご参加いただき、(春の)石の標本づくりを開催しました。例年は春と秋の2 回開催していましたが、秋に日本ジオパーク全国大会の白山手取川大会が開催されることから、秋の開催は見送られ春の1 回になります。

いつものように金沢大学の先生から、石の成り立ちや特徴を教わった後、石のパンフレットを見ながら、お気に入りの石を探し、それぞれの標本箱をつくっていただきました。子供たちはルーペを使い観察したり、ハンマーで割ってみたりと、興味津々でした。いっぱいになった石の標本箱を参加者それぞれに持ち帰っていただきました。

子供たちは石を拾っては、資料と見比べて岩石の名前を探し、先生や学生に質問したりと、自分だけの標本づくりに夢中になっていました。「石を集めるのははじめて。いろいろあって楽しい」という子供の声を聞いて、開催して良かったと実感しました。子供たちの自然科学への興味につながるような活動をこれからも続けていきたいと思います。

このイベントは石川県地質調査業協会が担い手確保・育成推進イベントとして、金沢大学と白山手取川ジオパーク推進協議会とともに開催しており、北陸地盤工学研究会にもご協力いただいております。ご協力いただいた皆さまに、この場を借りて深くお礼申し上げます。今後も皆さんとお互いの活動をさらに連携・協力していきたいと思います。

主　催　（一社）石川県地質調査業協会・白山手取川ジオパーク推進協議会・金沢大学理工学域地球社会基盤学類地球惑星科学コース
協　力　北陸地盤工学研究会、金沢大学理工学域

日　時　令和4年5月21日（土）
場　所　10時～12時
　　手取川の河原
　　「道の駅しらやまさん」
参加者　親子20組

協会ニュース

担い手確保・育成推進事業
高校生対象

石川県立羽咋工業高等学校 体験学習

11 月29 日に羽咋工業高等学校にて、土木コース(12 名)・建築コース(16 名) の計28 名の2 年生を対象に地質調査に使用するボーリングマシン等の機械や器具の体験学習を開催しました。

生徒の皆さんには、屋内にて、地質調査業の仕事の内容や必要性および重要性について説明させていただきました。屋外では、ボーリングマシンやサウンディングの機械、観測機器、および、ボーリングで採取したコア(試料) を実際に、手に触れて体験してもらうことで、関心を持ってもらえたと思います。

今回の体験学習が、生徒の皆さんの今後に活かされることや将来の就職における選択肢の一つとして関心を持って頂ければと願っております。

最後になりましたが、今回もご協力頂きました北海技建株式会社、株式会社測商技研北陸の皆様、また、当日スタッフの皆様、誠にありがとうございました。

日　時　令和4年11月29日（火）
場　所　10時5分～11時55分
　　石川県立羽咋工業高等学校
参加者　建設造形科土木コース（12名）
　　建築コース（16名）2年生

協会ニュース

労働安全衛生特別講習会

令和４年度　労働安全衛生特別講習会（ボーリングマシン運転業務）の開催

労働安全衛生規則によりボーリングマシンの運転に携わる者の特別教育が義務付けされています。このため当協会では、法令に基づき下記のとおりボーリングマシン運転者の安全衛生特別教育を実施しました。

［学科教育］

日時　令和４年１０月７日(金) 9:00～17:00
場所　石川県地場産業振興センター
内容　・労働安全衛生規則関係法令
　　・ボーリングマシンに関する知識
　　・ボーリングマシンに必要な一般的事項に関する知識
講師　東邦地下工機(株) 社長室参事
　　片山　浩明 氏

［実技教育］

日時　令和４年１０月８日(土) 9:00～15:00
場所　(一社)石川県地質調査業協会　駐車場
内容　・ボーリングマシンの運転、運転合図
受講修了者　１７名

協会ニュース

技術講演会

令和4年度　技術講演会の開催

今年度の講演会は３年ぶりとなる対面形式による開催といたしました。近年の地震被害の実例から見えるその特徴、および土砂災害の特徴と石川県内の地域性に関して、二人の先生に講演していただきました。

当日は、十分な感染防止対策の上、総勢 51 名の技術者に参加いただき、聴講いただきました。

宮島先生には、地震波の特徴として最大加速度だけでなく、周期や最大速度にも着目することにより、被害形態の違いが見えることや、液状化の発生後は密になり液状化しにくくなると言われているもの、発生した地震動よりも液状化が長く継続するために、実際には緩いまま残り、同じところで液状化被害が繰り返されることを実例と共に紹介いただきました。また、近年頻発する珠洲の群発地震についても、震源域の移動や被害状況についてお話しいただきました。

高原先生には、ハザードマップの作製の基となる地質情報の精度が粗く、解像度の高い地質図をより広い範囲で作成することが望まれること、土砂災害警戒情報の発令に使われるクリティカルラインについても対象地の地質情報が合致していないために補足できないケースがあることをお話しいただきました。また斜面安定計算の計算法について、想定した地盤モデルに適した計算法を用いないと実際には対策工が不足しているケースがあり得ることを示していただきました。

講演後の質疑応答では、対面形式であることもあり、活発な議論が行われ、講師・聴講者共に好評をいただきました。

プログラム 1.

「近年の地震における被害の特徴と教訓」

講師　金沢大学　名誉教授
宮島（みやじま）　昌克（まさかつ） 氏

プログラム 2.

「石川の土砂災害の地域性と土砂災害警戒情報の特徴」

講師　金沢工業大学　環境土木工学科
高原（たかはら）　利幸（としゆき） 氏

日時　令和４年11月18日(金) 13時30分～17時
会場　金沢東急ホテル
参加者　51名

協会ニュース

経営者研修会

令和4年度　経営者研修会の開催

フードコーディネーターのしもおきひろこ様をお迎えして、ご講演頂きました。
「食のよもやま話」をテーマに、能登の昆布や加賀料理などの食のルーツや金沢おでん、B 級グルメなどの現在の料理、そして、食生活についてなど、様々な観点から大変興味深いお話をして頂きました。
石川県の食文化や郷土料理について、深く知ることが出来た貴重な時間となりました。

演　題　『食のよもやま話』
講　師　しもおき ひろこ 氏
フードコーディネーター、料理研究家

講師　しもおき ひろこ 氏

講演会の様子

プロフィール

生粋の金沢生まれ、金沢育ちで、料理特別講師を経て、2008 年に「しもおきひろこキッチンスタジオ」を開設。フードコーディネーターをはじめ、多くの資格を有し、「食」にまつわる様々なことを、幅広いフィールドで楽しくわかりやすく提案。2019 年 3 月には、手作り弁当＆パン「ひなた Factory」を金沢市にてオープン。2016 年 3 月に金沢大学大学院 地域創造学域研究科を卒業し、「奥能登の過疎と昆布食と食文化の伝承について」研究し、修士論文も発表。現在は、テレビ金沢の「となりのテレ金ちゃん」の木曜レギュラーとしての出演や北國新聞、毎週金曜日朝刊「旬食ウフフごはん」の連載など多岐にわたって活動。著書は「しもおきひろこ 笑顔でごはん。」。

日　時　令和5年1月27日(金)
　　17時～18時
場　所　金沢東急ホテル
受講者　44名

“地すべり対策に”

抑止杭
　鋼 管 杭　日本製鉄株式会社 / 株式会社クボタ / JFE スチール 株式会社
　深礎杭(ライナープレート)　日鉄建材株式会社

堰　堤
　鋼製自在枠　同　上

土留壁
　鋼製簡易土留壁　同　上

集水井
　ライナープレート　同　上

水　抜
　ビニールパイプ　積水化学工業株式会社

ポリコンFRP管
　さく井用ケーシングパイプ　株式会社 栗本鐵工所

N.S.T.スクリーン　株式会社 日さく

上記製品取扱店
株式会社 辻さく
Tsujisaku Co.,Ltd.
取締役社長　辻　亮一
〒921-8555　営業本部　金沢市増泉5丁目1番地30号
TEL (076) 243－7731　FAX (076) 243－3876
富山営業所・小松営業所・能登営業所
TEL(076)432−5310　TEL(0761)21−7077　TEL(0768)52−8585
許可番号　石川県知事　許可(般-1)第2391号

TOHO

TOHO drilling equipment ロックボルト専用機

エアーキッド

試錐機 D0-D型

ST集排水工法

NETIS旧登録番号HR990020
地すべり対策の排水・
集水工事の新工法として
地下水の効率的な排除を
考慮した新工法

（ＡＫ－０１型）
NETIS旧登録番号QS050008-V

全エアー掘削

全エアー駆動方式で掘削が可能なため、
ランニングコストを削減！

エアホース配管のみで作業開始が可能、
段取時間短縮に大いに貢献！

東邦地下工機株式會社

東京・札幌・仙台・新潟・金沢・名古屋・大阪・松山・広島・山口・福岡

金沢営業所　金沢市諸江町中丁161-1-102　TEL(076)235-3235
FAX(076)235-3240

土質試験のことなら ISO 9001:2015 認証取得

協同組合土質屋北陸

室内試験から現場試験までお任せください　（旧石川県土質研究協同組合）

北陸唯一 特殊試験も対応！

KO圧密、動的試験（液状化特性、変形特性）、ベンダーエレメント、不飽和土の三軸試験、詳細ニューマーク-D法

DOSHITSUYA HOKURIKU

―たとえるなら土のソムリエ―

確かな土質情報をサポートします。

理事長　市山　勉

〒920-0059 石川県金沢市示野町西7番地
TEL（076）268-4666　FAX（076）268-4510
ホームページ　https://www.doshitsuya.or.jp
メールアドレス　info@doshitsuya.or.jp

comunicación con la tierra

Japón y Honduras

日本とホンジュラス

測商技研北陸は
中米ホンジュラス共和国での
斜面災害事業に取り組んでいます。

多段式傾斜計の設置風景

大地とのコミュニケーション

株式会社 測商技研北陸

〒920-0058　石川県金沢市示野中町２丁目８５
TEL 076-232-3900　FAX076-222-3334
Email info@sokuhoku.co.jp

工事用モノレール販売・リース・施工

It's safety and speedy

株式会社 熊下工業

事業所
〒926-0832　石川県七尾市盤若野町ワ33-4
TEL:0767-57-5794　FAX:0767-57-5795
http://www.kumasita.com

ワイヤロープ・吊具を中心に
様々な創意工夫で安全をサポート

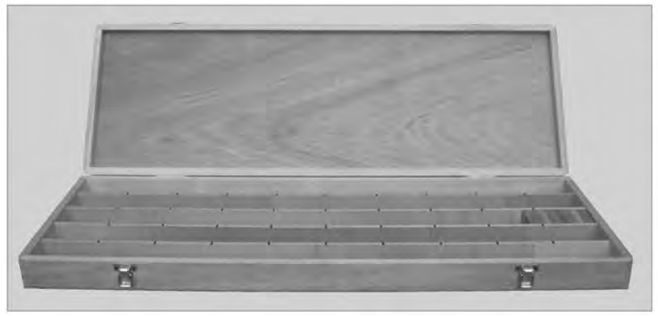
小松索道工業 株式会社

〒923-0964　石川県小松市今江町3-675
TEL:0761-22-8530　FAX:0761-22-6862
https://itp.ne.jp/info/174666677300000899/

株式会社 セップ

〒533-0005　大阪市東淀川区瑞光3丁目10番23号
TEL.(06)6327-1331　FAX.(06)6326-6778
http://www.sep99.jp/

◆ **オールコアー箱**



種類	1列幅×高（内寸mm）	列数	長さ（内寸）
66用	56×56	5	
76用	66×66	5	標準:
86用	76×76	3, 4, 5	1000mm
116用	106×106	2, 3	
HQ	68×68	5	国交省型:
NQ	53×53	5	1030mm
PQ	90×90	3	
その他	ご希望	ご希望	ご希望

オールコアー箱, 土質標本箱, 試料瓶, コア箱用吹付板, 写真撮影用品, 貫入袋,
その他各種地質標本用品を取り揃えております。

株式会社 マスダ商店

http://www.masuda-s.jp

石川県地質調査業協会賛助会員

TEL:082-231-4842　FAX:082-292-9882
E-mail:info@masuda-s.jp

会員名簿

令和5年2月1日現在

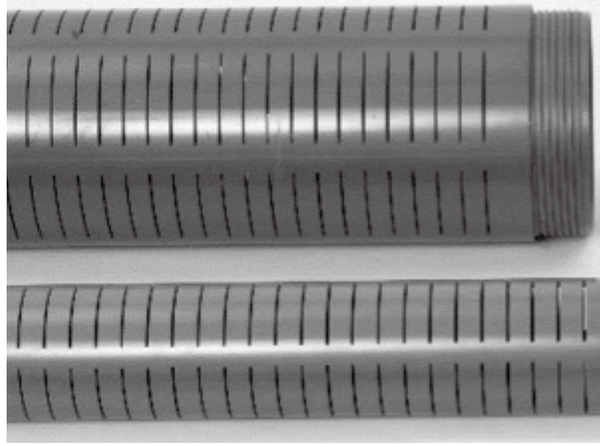
一般社団法人 石川県地質調査業協会
〒920-0059 金沢市示野町西7番地
TEL(076)267-3244
FAX(076)267-3271
https://www.ishikawa-geo.or.jp
E-mail info@ishikawa-geo.or.jp

正　会　員

役　員	会　社　名	代表者	郵便番号	住　所	電話番号	FAX
	アルスコンサルタンツ(株)	瀧上　彰	920-0362	金沢市古府2-76	076-248-4004	248-4174
	(株)石川地質コンサルタンツ	数左　従光	920-0059	金沢市示野町西3	076-213-8151	213-8153
理　事	(株)エオネックス	市山　勉	920-0209	金沢市東蚊爪町1-19-4	076-238-1181	238-9781
	(株)カナイワ	普輪崎賢彦	921-8027	金沢市神田2-9-19	076-244-6447	244-6407
監　事	興信工業(株)	室谷　信子	927-0624	鳳珠郡能登町字時長45-65	0768-72-1223	72-1224
	国際地研(株)	松村　徹	920-0017	金沢市諸江町下丁428	076-237-5758	237-4356
理　事	中部地下開発(株)	渡部　友則	920-0205	金沢市大浦町ハ51-1	076-237-5000	237-0600
	中部地質(株)	能島　利一	921-8061	金沢市森戸1-228	076-240-7887	240-7757
	東亜鑿泉工業(株)	吉田　良雄	925-0022	羽咋市深江町ヲ36-2	0767-22-3155	22-3241
	(株)日研技術	芝山　修	921-8001	金沢市高畠3-92	076-291-8180	291-5010
会　長	能登建設(株)	矢野　好二	927-1454	珠洲市三崎町宇治ヨ部129-1	0768-88-8800	88-8811
	(株)のとさく	明星加守暢	927-1215	珠洲市上戸町北方い部31-1	0768-82-0111	82-6126
常務理事	古一地下開発(株)	古一　力	926-0831	七尾市池崎町む部70-1	0767-57-3700	57-2600
副会長	(株)ホクコク地水	尾蔵　丈房	921-8021	金沢市御影町25-1	076-241-7158	243-2422
	北海技建(株)	高木　仁志	925-0014	羽咋市釜屋町ノ44-2	0767-22-6618	22-6268
	宮下建設(株)	山下　勇人	927-2151	輪島市門前町走出3-50	0768-42-1138	42-1344

賛助会員

役　員	会社名	取扱商品	代表者	郵便番号	住　所	電話番号	FAX
	飯田ユニパー(株)金沢支店	資機材、人員のモノレール運搬	通筋　茂敦	920-0211	金沢市湊1-48-2	076-239-2282	238-6731
	(株)熊下工業	工事用モノレール販売・リース・施工	熊下　正弘	926-0821	七尾市国分町カ部8番地9	0767-57-5794	57-5795
	小松索道工業(株)	ワイヤロープ・吊具	杉宮　伸司	923-0964	小松市今江町3-675	0761-22-8530	22-6862
	(株)セップ	ボーリング資材の製造及び調達	勝間　哲朗	533-0005	大阪市東淀川区瑞光3-10-23	06-6327-1331	6326-6778
監　事	(株)測商技研北陸	各種地すべり測定器・気象観測・各種精密測定器製造販売管理	舘中　憲次	920-0058	金沢市示野中町2-85	076-232-3900	222-3334
	(株)辻さく	鋼管・鋼材・ビニール管・各種動力ポンプ	辻　亮一	921-8555	金沢市増泉5-1-30	076-243-7731	243-3876
	東邦地下工機(株)金沢営業所	ボーリングマシン・ポンプ・ミキサー・小口径推進器・各種付属品	河内　弘志	920-0016	金沢市諸江町中丁161-1-102	076-235-3235	235-3240
	(株)ドゥーイング	ポスター・パンフレット・カタログ・DM・チラシ・ホームページ制作	橋田　望生	920-1155	金沢市田上本町ヲ22	076-254-1780	254-1790
	協同組合土質屋北陸	土質試験	市山　勉	920-0059	金沢市示野町西7番地	076-268-4668	268-4510
	(株)マスダ商店	地質調査用コア箱・標本箱・試料ビン等の製造販売	増田　幸司	733-0032	広島市西区東観音町4-21	082-231-4842	292-9882
	(株)ミサキ北陸営業所	調査孔・観測孔等の保孔管の製作・ご提供	道端　豊孝	921-8005	金沢市間明町2-88ｶﾞｰﾚⅢ101	076-259-5735	259-5725

URL:https://www.misaki-k.co.jp
横スリット型ストレーナ管

大開口率・高強度
VP25～VP100
観測孔・流向流速試験孔・土壌汚染調査孔
各種調査孔に対応
大口径タイプ（VP100～VP300）
さく井用もラインナップ
misaki
株式会社 ミ サ キ
本社
〒566-0052
大阪府摂津市鳥飼本町2-3-29
TEL 072-654-3002　FAX 072-654-9774
北陸営業所
〒921-8005
金沢市間明町2丁目88　クヴェレⅢ101
TEL 052-982-6023　FAX 052-982-6024

地質いしかわホームページから
“最新号”や“バックナンバー”を
ダウンロードできます！
ダウンロードページはこちら
https://www.ishikawa-geo.or.jp/download/

地質いしかわ最新号
e-BOOK
最新号はe-BOOKでもご覧頂ける予定です

編集後記

ISHIKAWA GEOLOGICAL SURVEY ASSOCIATION

「地質いしかわ」第77号を無事に発刊することが出来ました。

昨年は、コロナ禍における行動制限が緩和され、多くの皆さんが旅行や会食などを楽しむことが出来たのではないでしょうか。

石川県においては、28年ぶりの知事選挙において新たに馳知事が就任されました。これからの石川県をどのような政策で発展させていかれるのか、大変、楽しみにしております。

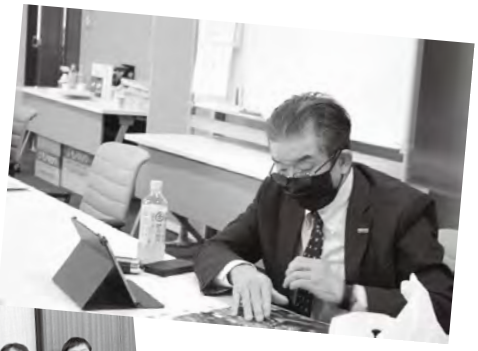
また、馳知事には、大変お忙しい中、対談をして頂き、誠に感謝しております。

それから、今なお続く珠洲市での群発地震、加賀地域での大雨による自然災害、世界に目を向けると、ロシアによるウクライナ侵攻等と、日々、平和に暮らせることが当たり前ではないということを改めて認識させられました。一日一日を大事に、今出来ることを考えて過ごしていきたいと思います。

最後になりますが、関係各所の皆様、当協会の理事の方々、総務・広報委員、技術・安全委員の皆様のご尽力により2年間、委員長を務めさせて頂くことが出来ました。この場を借りて、深くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

総務・広報委員長　島田　清司

EDIT MEMBERS　No.77



ミーテイング風景

総務・広報委員会

担当理事	古一	力	古一地下開発㈱
担当理事	市山	勉	㈱エオネックス
編集長	島田	清司	能登建設㈱
副編集長	酒井	敬士	㈱エオネックス
編集員	北市	忠	㈱石川地質コンサルタンツ
編集員	松村	英樹	国際地研㈱
編集員	坂下	裕平	中部地下開発㈱
編集員	榊	博俊	中部地質㈱
編集員	松本	康平	東亜鑿泉工業㈱
編集員	竹田	祐介	㈱日研技術
編集員	高野	裕久	㈱のとさく
編集員	松原	和之	古一地下開発㈱
編集員	中村	有宏	㈱ホクコク地水
編集員	宮下	正久	宮下建設㈱